

防水／防塵性能に関するご注意

本機の防水／防塵性能について

本機は、USIMカード／SDカードトレイが完全に装着された状態でIPX8※1、IPX9※2相当の防水性能およびIP6X※3相当の防塵性能を有しております。

※1 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところの本機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX9とは、高温水を用いた高圧の噴流水を、約30秒間噴射した後でも電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

本機が有する防水性能でできること

- ・雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。手が濡れているときや本機に水滴がついているときには、USIMカード／SDカードトレイの開閉はしないでください。
- ・常温の水道水で手洗いすることができます。
 - －規定以上の強い水流を直接当てないでください。
 - －USIMカード／SDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用せず、手洗いしてください。
 - －洗ったあとは、表面、裏面を乾いた布でよく拭いて、水抜きを行ってください。
 - －強くこすらずに洗ってください。

防水／防塵性能を維持するために

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- ・常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ・USIMカード／SDカードトレイはしっかりと差し込んでください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ・受話口、送話口／マイク、サブマイク、スピーカー、外部接続端子などを尖ったものでつかないでください。
- ・落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ・防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は本機をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先または最寄りのワイモバイルショップまでご連絡ください。
- ・USIMカード／SDカードトレイのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

使用上のご注意

次のイラストで表すような行為は行わないでください。



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

本機について

- ・規定以上の強い水流を直接当てないでください。IPX8／IPX9の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- ・万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・本機に次のような液体を掛けたり、浸けたりしないでください。
 - －石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
 - －海水、プールの水
 - －温泉、熱湯など
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ・本機を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- ・本機は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地などでは凍結し、故障の原因となります。
- ・受話口、送話口／マイク、サブマイク、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・USIMカード／SDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、お問い合わせ先または最寄りのワイモバイルショップまでご連絡ください。
- ・本機が水に濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

その他

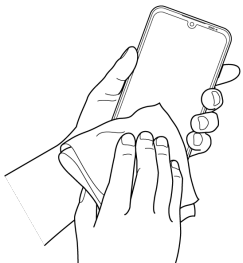
- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。
- ・実際の使用にあたって、すべての状況の動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本機を水に濡らすと、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

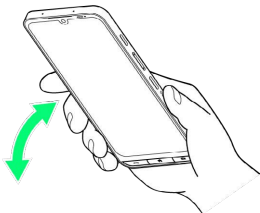
1

本機をしっかりと持ち、表面と裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



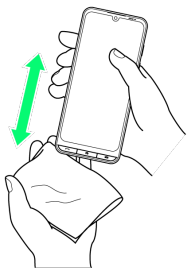
2

本機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3

受話口、送話口/マイク、サブマイク、スピーカー、外部接続端子、電源ボタン/指紋センサー、音量ボタン、サイドボタン、フロントボタン、USIMカード/SDカードトレイなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本機を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取る



4

本機から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる

- ・水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・すき間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときは

充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- ・本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・本機が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- ・ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。